

令和3年度社会実装教育フォーラム開催要項

～社会実装×高専生で新たな価値を創る～

1. 趣 旨:

「社会実装教育」とは、学生が仲間と互いの強みを活かし、ユーザ等と共創しながら現実の課題を解決する画期的なエンジニアリング・デザイン(以下、「ED」と表記する)教育です。モデルコアカリキュラムにおけるED教育のモデルケースとも言えます。

「社会実装教育フォーラム」とは、学生が課題解決に取り組む、新しい価値を生み出し、その成果を発表する場です。活動を通じて、知的好奇心を全開にして、主体的に必要な知見を求め、吸収し、野心的に未来を切り開く力を修得することでしょう。

一方、学生にとって、本フォーラムは、単に成果を競うだけの場ではなく、専門家(審査員)からの確かな評価を得る場となります。さらに、教員にとっても、理想的なED教育を探究する格好の機会です。

より深化した学生のED能力の育成と、理想的なED教育の探究を目標に、本フォーラムを開催します。

是非、ご参加いただきますよう、ここにお願ひ申し上げます。

2. 主 催:東京工業高等専門学校

3. 協 力:

一関工業高等専門学校
小山工業高等専門学校
長野工業高等専門学校

4. 後 援:

一般社団法人東京高専技術懇談会
八王子商工会議所
相模原商工会議所

5. 日 時:

2022年3月4日(金)～5日(土)

6. 会 場:

オンライン形式での開催となります。
使用するweb会議システムは、後日連絡します。

7. 参加対象及び条件等:

- (1) 参加対象は高専生とします。
- (2) 社会(または企業)の課題を解決するための取組を対象とします。
- (3) 卒業研究・特別研究等の授業で取り組むテーマも可とします。
- (4) 企業(またはユーザ)との共創を推奨します。
※新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を鑑み、ユーザとの取組が十分できていない場合でも参加可能です。

8. チーム構成:

- (1) 1チームの構成は、学生(1名チーム可)と指導教員で構成してください。学生の複数チームへの参加は不可とします。
- (2) チーム内で役割分担を明確化することを推奨します(例えば、技術責任者、財務責任者、コミュニケーション責任者等の役割)

9. 実施方法:

- (1) 課題解決に向け、**社会実装プロセス**(またはその一部)への取組内容を発表し、コンテスト形式で競います。発表方法等は別途お知らせします。
- (2) 建設分野の取組について
建設分野は「建設現場実装プロジェクト」を設けています。このプロジェクトは、高等専門学校と建設・社会インフラ企業等が協力して一緒に技術開発を進めていくことを指向しています。特に優れたアイデアや工夫を発掘し実用化に向けた開発が進められるよう、国土交通省が設置する「現場実装プロジェクト支援委員会」と連携しています。「建設現場実装プロジェクト」に申請することにより、要望に応じて、協働できそうな企業とのマッチングが相談でき、その企業から支援を受けることも期待できます。また社会インフラ用ロボット賞に選出・表彰された場合は、上記委員会より一般財団法人先端建設技術センターの研究開発助成への推薦が得られます。

10. 表 彰:

- (1) 最優秀社会実装賞(1チーム)
国立高等専門学校機構理事長(予定)
- (2) 企業賞等(複数チーム)
「調整中」

11. 参加登録:

- (1) 方 法
所定の「社会実装教育フォーラム参加登録用紙」に必要事項を記入し、(2)の担当係宛E-mailにて提出してください。
- (2) 提出・問合せ先
東京工業高等専門学校総務課総務企画係
〒193-0997 八王子市櫛田町 1220-2
E-mail kikaku@tokyo-ct.ac.jp
TEL 042-668-5133
- (3) 締 切
2021年10月29日(金) 17時まで

12. その他:

- (1) 学校管理下以外での活動をする場合には、保険加入等必要な対策をご検討ください。
- (2) 「建設現場実装プロジェクト」の支援を希望の場合は「支援申請書(参加登録用紙下部)」を併せて提出してください。
- (3) これまでの社会実装教育フォーラムの成果を取りまとめたアニュアルレポートは以下よりご覧いただけます。

【アニュアルレポートの URL】

<https://www.tokyo-ct.ac.jp/wp-content/uploads/2019/08/annualreport.pdf>